

若手イニシアティブセミナー Wakate-Initiative Seminar



筑波大学
University of Tsukuba

演題： **バイオインフォマティクスの基礎知識**

～wet実験者のかゆいところ～

演者： **大庭良介** 先生

筑波大学大学院 人間総合科学研究科 感染生物学分野

日時： 2008年9月30日 (火) 17:15 – 18:15

会場： 筑波大学 医学系学系棟 4B482室

大規模オーム(-ome)プロジェクトの進展に伴い、様々なゲノム・遺伝子・タンパク質のデータがインターネットを通じて簡単に入手できるようになりました。いまやデータベースサーチを始めとするバイオインフォマティクスと無縁なwet研究者は皆無ではないでしょうか。一方で、データベース検索結果や、ソフトウェアによる解析結果の解釈で迷われたことはありませんか？BLAST検索で出てくるホモログは、どこまでをホモログと判断してよいのでしょうか？結果についてくるScoreとe-valueってなんでしょう？ソフトウェアで作成した配列アライメントに合理的でない箇所があるのはなぜでしょう？分子系統樹の表現する分子進化の過程はどこまで信じてよいのでしょうか？などなど。本セミナーでは、このような疑問に対応すべく、BLAST(ホモログ検索法)、Clustalw/x(ダイナミックプログラミングによる多重アライメント作成法)、系統樹作成法(距離法(近隣結合法))、について、その基本的原理や結果の解釈法・対処法を解説します。これらに共通する原理があるって知っていましたか？

事前登録は不要です。多数の皆様のご来場をお待ちしております。

連絡先： 人間総合科学研究科 長谷川 潤 h.hasegawa@md.tsukuba.ac.jp
生命環境科学研究科 丹羽 隆介 rniwa@biol.tsukuba.ac.jp